

ボーリング柱状図

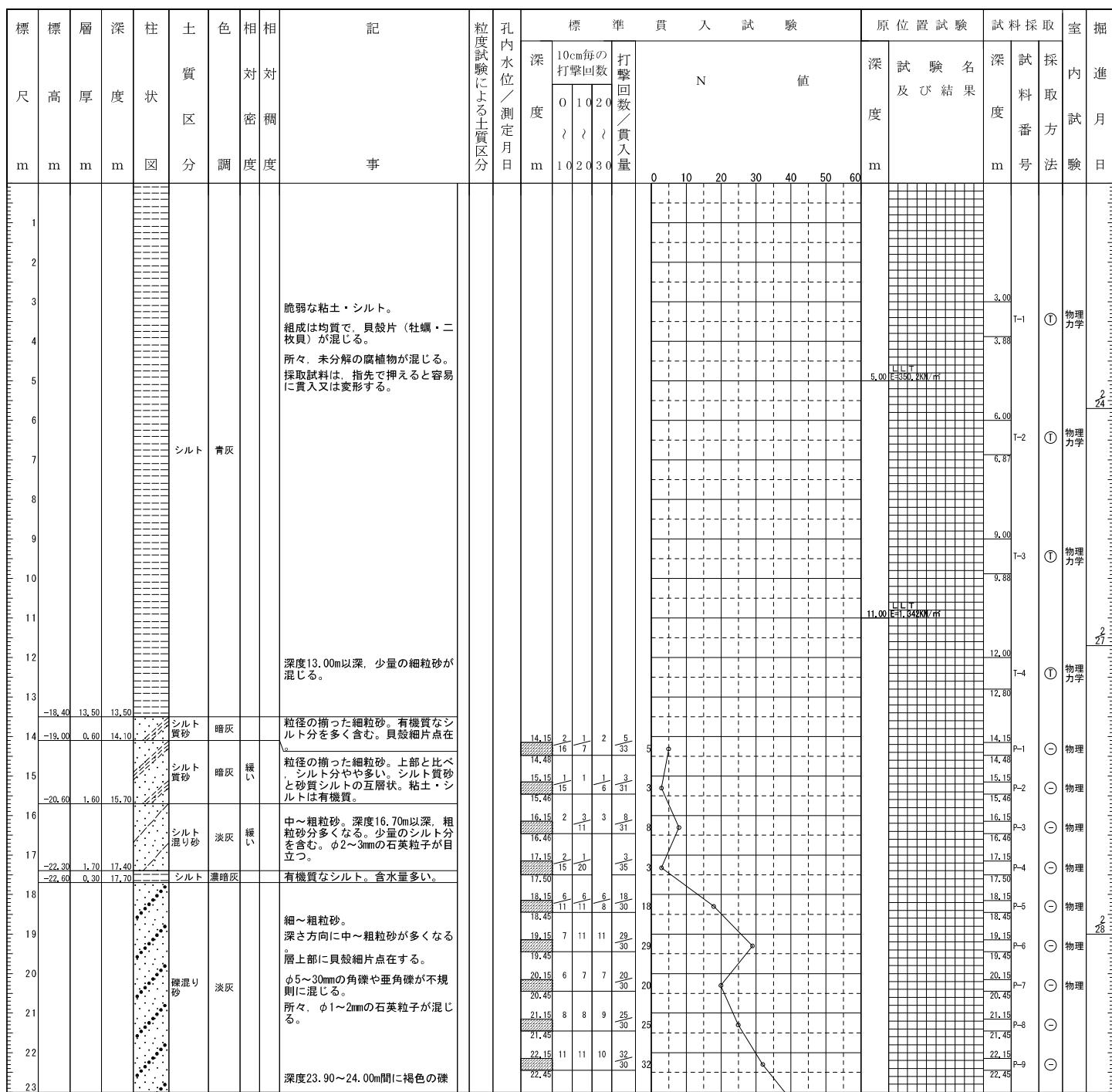
調査名 国際拠点港湾 広島港 臨港道路廿日市草津線 広島はつかいち大橋土質調査業務委託(その2)

ボーリングNo.	5	1	3	2	4	2	2	8	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. P5	調査位置	広島県広島市佐伯区五日市港三丁目地先						北緯	34° 21' 16.9388"		
発注機関	広島港湾振興事務所						調査期間	平成29年 2月24日～平成29年 3月 6日				
調査業者名							現代理人			コア鑑定者		
孔口標高	CDL -4.90m	角度	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試錐機 東邦D-1B58	ハンマ一落 下用具	半自動型	
総掘進長	43.00m							エンジン	NS-110	ポンプ	東邦BG-3B	



24	-28, 90	6, 30	24, 00	礫混り砂	淡灰	混じり粘土質砂の薄層を挟む。
25	-30, 60	1, 70	25, 70	礫混り砂	淡褐灰	細～粗粒砂。中～粗粒砂分優勢。 $\phi 5\sim 30mm$ の角礫や亜角礫が不規則に混じる。
26				礫混り砂	淡褐灰	細～中粒砂。粗粒砂分少量混じる。 $\phi 5\sim 30mm$ の角礫や亜角礫が多く混じり、深度25.70m以深に長さ8cm程度の玉石を挟む。
27				礫混り砂	非常に密な	
28	-32, 70	2, 10	27, 80	礫混り砂	淡黄褐	細～中粒砂。 $\phi 5\sim 20mm$ の中礫が混じる。
29	-33, 95	1, 25	29, 05	砂質粘土	淡青灰	含水量少なく、硬く固結している 非常に硬い
30	-34, 60	0, 65	29, 70	砂	褐	細～中粒の砂・砂質土状。 深度31.00m以深、粗粒砂分多くなる。
31	-36, 55	1, 95	31, 65	砂	淡黄褐	硬く固結した微細砂。固結した部分は、指先で強く押えると砂状に崩れる。
32	-37, 50	0, 95	32, 60	砂	淡褐灰	細～中粒砂。小礫点在する。
33	-38, 10	0, 60	33, 20	粘土	褐青灰	硬く固結している。組成均質。
34	-38, 60	0, 50	33, 70	砂混り粘土	暗青灰	硬く固結している。少量の細粒砂が混じる。
35	-39, 10	0, 50	34, 20	砂	淡青灰	粒径の揃った細粒砂。
36	-39, 70	0, 60	34, 80	礫混り砂	淡褐	細～中粒砂。 $\phi 5\sim 50mm$ の角礫や亜角礫が多く混じる。所々、風化したまさ土状の塊を挟む。礫の基質は花崗岩。
37	-41, 60	1, 90	36, 70	礫混り砂	淡褐	細～粗粒砂。 $\phi 5\sim 30mm$ の角礫・亜角礫が不規則に混じる。
38						細～粗粒砂。 中～粗粒砂分優勢。 $\phi 5\sim 50mm$ の角礫や亜角礫が多く混じる。
39						所々、 $\phi 2mm$ 以下の石英粒子やまさ土状の塊を不規則に挟む。
40						礫の基質は花崗岩で、風化礫及び未風化礫が混在する。
41						
42						
43	-47, 90	5, 40	43, 00			
44						
45						
46						
47						
48						

